



## Q. 全国学力テストへの対応は

### A. 抽出調査には参加、自主参加はしない

熊沢直紀議員

Q

全国学力テストは、昨年までの3回は小学6年と中学3年の全員参加方式で行われてきた。しかし本年度は政権交代に伴い、予算が削られ、文部科学省が抽出した小中学校合わせて約1万校の子どもたちに絞られた。

しかしながら、予想に反し、抽出から外れた学

校の約6割が自主的に参加した。抽出校と合わせると、全体の約7割162万人の小中学生が参加し、4月20日に全国学力テストを受けたとのことである。

子どもの学力の程度を親が知りたいのは当たり前であり、子ども自身も知りたいと思う。横浜市や名古屋市では自主参加校は無かったとのことだが豊山町においてはどの様であったのか。また、教育委員会での様な議論があったのか詳しい回答を求める。

A

全国学力・学習状況調査は、平成19年度から21年度までは全国の小中学校の小学校6年生、中学校3年生全員を対象に小学校は算数、中学校は数学と国語の2科目で行われた。こうし

た中、平成22年度の調査からは、実施学年と実施科目は変わらないが、調査方式が約3割の学校のみを対象とする抽出調査に変わった。抽出の対象からはずれた学校でも希望すれば利用できる。そこで、本教育委員会では、学校現場の声を尊重し、抽出調査には参加するが



はい! できました

希望利用については利用しないと結論した。なお、抽出に該当しなかった。町内の小中学校は一校も

